

熊野神社の大ケヤキ (くまのじんじゃのおおけやき)

天童市久野本二丁目7-6

(案内略図)

J R天童駅の北およそ1.5kmのところ熊野神社があり、その境内には、樹高が19.5mで、根周り9.8m、目通り幹周り6.85mの大ケヤキが立っている。樹齢は六百年と推定され昭和48年12月12日に市指定天然記念物に指定されている。

熊野神社の前身は、久野本中道に建立された熊野堂で、慶長年間後期に羽州街道が開かれると、この地に遷座した。当時、この辺り一体は自然林が広がり、この大ケヤキはもともとあった自然林の一本だという。 (山形県森林協会)



山形県 天童市 久野本二丁目7-6 熊野神社の大ケヤキ 樹齢推定600年

その昔、天童の通り神である熊野堂は、中道にあったという。農民の通、羽州街道が開かれると、熊野にあって久野本の集落は現在地に移り、熊野堂もまた、この地に移されたと伝えられる。

その当時、この辺一帯は一面の自然林であったという。この大ケヤキは、その自然林の中の一木で、当時をしのぶ唯一の老樹である。

樹 名	推定600年
根 周 り	9.80m
目通り幹周り	6.85m
樹 高	19.50m

昭和48年12月12日
天童市指定天然記念物
天童市環境委員会

【森林やまがた122号(2009年7月)記載】